村上春樹文学における「共鳴」について

中國文化大學

齋藤正志

　第7回のテーマ「共鳴」は「sympathy」という単語を想定したものである。今、辞書的な日本語訳例としては、「同情」「思いやり」「悔み」「共感」「共鳴」「同意」「支持」「支援」「[生理学]交感」「[物理学]共鳴、共振」などといった言葉が挙げられるだろう（小西友七1995『ジーニアス英和辞典』大修館書店）。「sympathy」は、政治問題などとかかわる支援者の意味である「シンパ」とも関係する語であり、様々な広がりを与えられる言葉だが、限定的に考える必要はないということは、従来のテーマと同様である。